

議 会 だ よ り

筑紫野

今回の定例会



2/15
2020
No.187

10万市民に議会を

聴く見る動く
チーム議会



目次

- 【特集】議会報告会 2
- 12月定例会委員会報告 6
- 一般質問 10
- 委員会視察レポート 15



福岡県筑紫野市議会

議会が聴く

第10回

議会報告会

開催しました



～プログラム～

- (1)議会だよりを使用した議会報告
 - 平成30年度決算
 - 各常任委員会報告
- (2)質疑応答
- (3)付箋紙を使った意見交換

| 開催日 | 会場名 | 参加者数 |
|-----------|----------------|------|
| 11月19日(火) | 御 笠コミュニティセンター | 17 |
| | 山 口コミュニティセンター | 20 |
| 11月20日(水) | 二日市コミュニティセンター | 20 |
| | 山 家コミュニティセンター | 20 |
| | 筑紫南コミュニティセンター | 15 |
| 11月21日(木) | 筑 紫コミュニティセンター | 24 |
| | 二日市東コミュニティセンター | 21 |
| 合 計 | | 137 |

参加者の質問・意見 132件

7会場で、参加者から132件の質問やご意見をいただきました。

質問が多かったベスト3

- 1位 災害対策 → ハザードマップの見直しを
- 2位 議会改革 → 政策提案はしているのか
- 3位 地域交通 → 公共交通機関の連携を
- 3位 上下水道 → 他市と比べて料金は など

掲載できなかったご意見や質疑応答は、筑紫野市議会のホームページに掲載しています。

参加して
いただいた皆様
ありがとうございます。
ございます。



40代男性

以前のようなテーマごとの話し合いの場をぜひ設けてほしい。

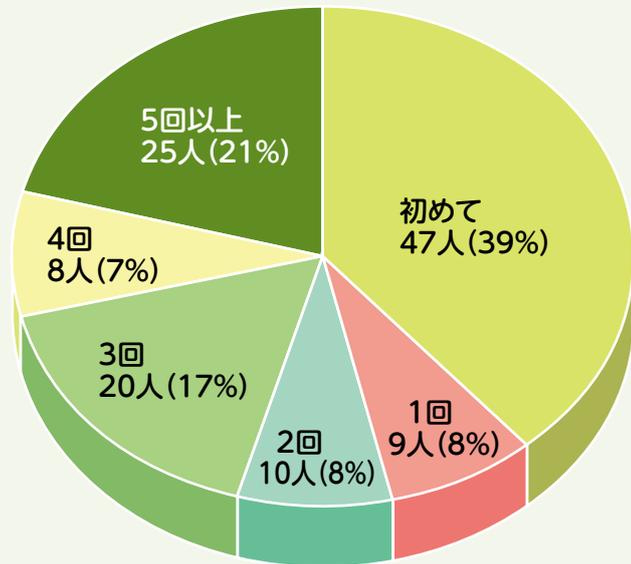


70代男性

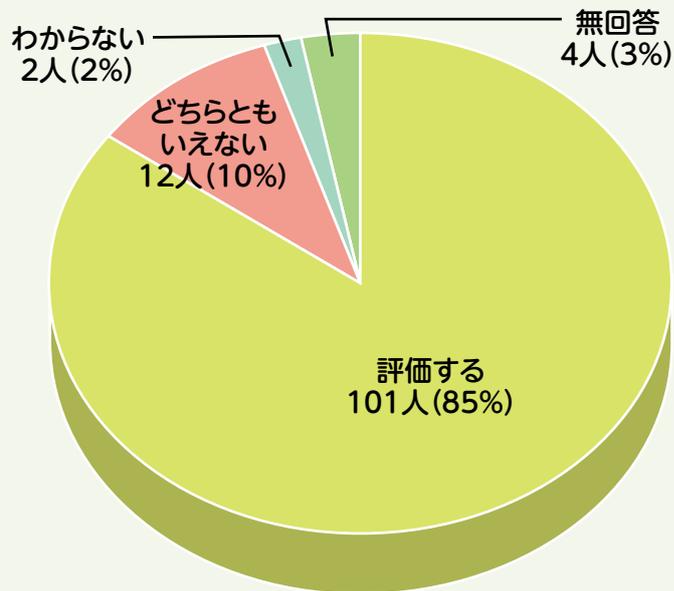
回を重ねるごとに良くなっていると思う。今後もぜひ続けていただきたい。

参加者アンケート結果

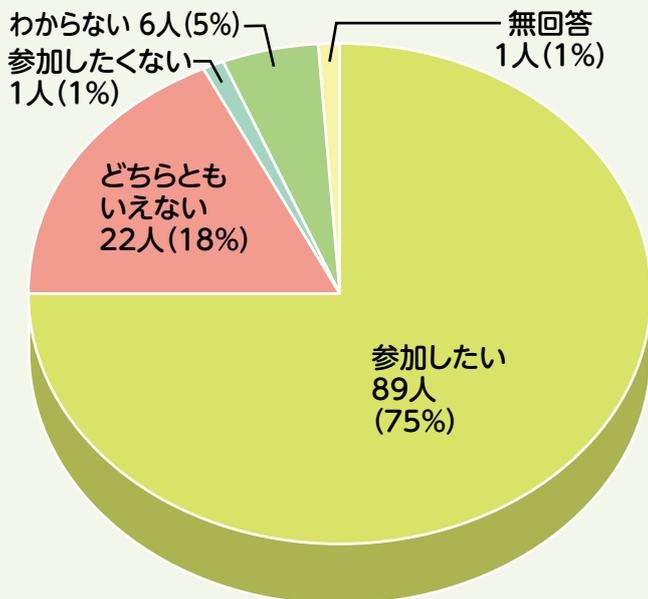
(1)参加回数



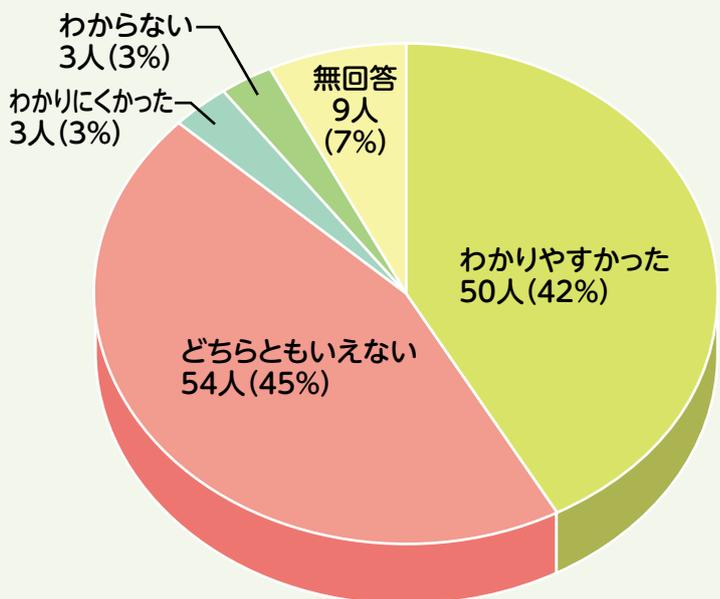
(2)議会報告会を開催することについて
どう思いますか。



(3)議会報告会は年1回以上開催すること
していますが、今後も参加されますか。



(4)議会報告会の説明や資料について
どう思われましたか。



参加者の声



60代女性

つくしちゃんの家計簿は
わかりやすいアイデアで
良かった。



50代女性

意見交換会は、身近な質問や要望
が多くわかりやすかったので有意
義なものだった。

公共交通機関の 連携を

地域交通

Q コミュニティバスについて、まだ不便地域は解消されていない等の問題がある。また、カミーリヤバスについては降車場所の制限があることや運行時間が変わったことで不便を感じる。改善されないのか。

A コミュニティバスの運行開始に合わせてカミーリヤバスのダイヤ改正が行われ、カミーリヤや福大筑紫病院などの乗り継ぎ拠点のバス停で乗り換えがしやすいよう設定しているとの説明を受けています。議会としても引き続き運行状況を確認しながら、ルート・ダイヤ・料金について改善に向けた要望、指摘を行っていきます。



待機児童は

子育て

Q 待機児童解消について市の取り組みは。議会はどのように把握しているのか。

A 待機児童数は平成30年4月1日現在182名、平成31年4月1日現在133名と減少しています。待機児童の1番の原因は保育士不足であり、市は保育士養成大学への定期的な訪問、市内認可保育所を含めた合同就職説明会等を開催し、昨年度は保育士を8名確保したとのことですが、まだまだ足りていない現状です。引き続き、待機児童対策に努めるとの説明を受けていますので、議会として今後も注視していきます。

他市と比べて 料金は

上下水道

Q 水道、下水道料金は他行政より高いようであるがどうなっているのか。

A 一般的な口径13mmの水道をお使いのご家庭では、上下水道合わせると、近隣では、大野城市と春日市より高いですが、太宰府市、那珂川市よりは安くなっております。

ハザードマップの 見直しを

災害対策

Q 台風・大雨時の公民館への避難を促しているが、現状難しい場所(老朽化・危険な場所)にあるところが多い。地域主導で(市も含む)現実的なハザードマップを早急に作っていくよう、働きかけてもらいたい。

A 執行部からは、避難所の見直し等も含め、各コミュニティの実情にあった新たなハザードマップを現在作成していると報告を受けています。

子どもの 虐待への考えは

子どもの 人権

Q 子どもの虐待にどのように対処しているのか。

A 児童福祉法が改正され、通告義務が課されています。市の担当課にも多くの通報があり職員が対応しています。虐待を把握するため市は警察、児童相談所など関係機関と協力して取り組みを強化し対応しています。議会としても定期的に執行部に報告を求め、協議しています。

議会報告会

各会場での

主な意見交換

他のご意見や質疑応答は、筑紫野市議会のホームページに掲載しています。

コミュニティとの 関わり方は

地域 コミュニティ

Q 各コミュニティと行政の線引きがわからない。市としてどういうスタンスなのか。

A 平成28年度に市とコミュニティ協議会がパートナーシップ協定書を結んでおり、市は財政支援、人的支援、物的支援及び情報支援を行うものとしています。また、コミュニティ運営協議会は地域の自主的かつ自律的な活動又は市との協働によって、より安全で安心なまちづくりを目指すものとしています。お互いが対等なパートナーとしてまちづくりを進めています。

筑紫野市の状況は

ふるさと 納税

Q ふるさと納税の筑紫野市の状況は。

A 筑紫野市が受けた寄付金は約1億1200万円、謝礼品の発送、運営管理の委託料などに約5100万円支出している状況であり、今後、謝礼品の数を増やしたり農業体験をしていただくなど検討していると報告を受けています。

不登校対策は

教育

Q 筑紫野市の小中学校のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの数は増えているのか。不登校の数やその対策はどのようにしているのか。

A スクールカウンセラーの増員はありません。スクールソーシャルワーカーも増員はありませんが、平成30年度より週1回から週4日へ勤務日数が増加しています。

不登校の数は年々増加し、その要因も多様化、複雑化しており、対応に苦慮していますが、学校だけでなく関係機関や地域と連携した組織的な対応を進めていると報告を受けています。増員については議会からも引き続き要望していきます。



政策提案は しているのか

議会

Q 議会として執行部提出以外の議案を提出した例はあるか。また、修正をした例はあるのか。

A 昨年、総務市民委員会で議案の修正を行いました。この他にも以前駐輪場の条例を修正したこともあります。議会提出の議案については、平成25年に議会基本条例の制定を行いました。

令和元年度筑紫野市一般会計補正予算
(第2号)

ふるさと応援寄附金事業 扶助費などの補正増



概要

本件の主な内容は、ふるさと応援寄附金納付促進事業、介護給付等事業、生活保護事業、災害復旧事業などの補正増であり、歳入歳出それぞれ6億5340万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ324億7614万1千円とするものです。

委員会での質疑

議員

生活保護費が1億8700万円ほど増加しているが、主な要因は、

執行部

前年度分の精算に伴う補助金の返還があることと、医療扶助費の増加によるものである。

議員

ふるさと応援寄附金が前年度から1.6倍増加しているということだが、その要因は、

執行部

今年度も謝礼品を増やし、選択の幅を拡げていること、昨年7月から新たなふるさと納税サイトでも受付を開始していることが主な増加要因ではないかと考えている。

所管事務報告 第二次筑紫野市地域コミュニティ基本計画 進捗状況

概要

第二次筑紫野市地域コミュニティ基本計画策定に向けた進捗状況について執行部から報告を受けました。

本計画は、令和2年度からの4年間を対象としており、1月中旬からパブリックコメントを実施し、年度末の策定に向けて作業を進めていくことを確認しました。

委員会での質疑

議員

計画策定にあたってコミュニティ運営協議会などと協議等は行ったのか。

執行部

コミュニティ運営協議会の役員の方を対象にアンケート、その後にヒアリングを実施している。

議員

今後、コミュニティは小学校の校区単位で設置されるのか。

執行部

小学校区単位が基本であるが、現在のコミュニティの編成としては7コミュニティという形となっている。

議員

コミュニティの自主財源の充実とはどういうことか。

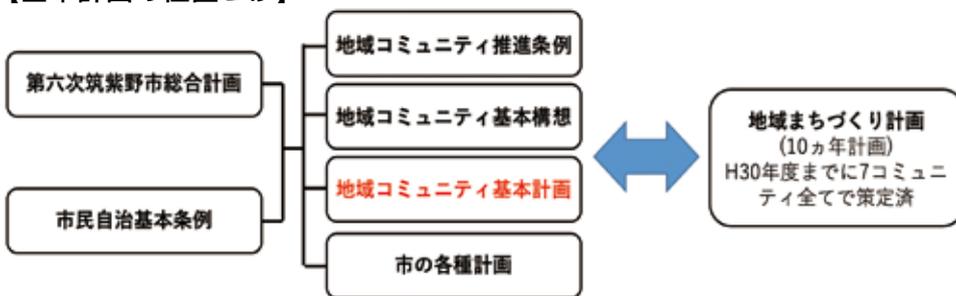
執行部

例えば行政区の負担金

地域コミュニティとは

一定の区域における自治会・町内会をはじめとする地縁団体や、まちづくり・子育て・防犯といった機能団体が様々な地域課題に取り組み、より安全・安心なまちづくりを目指す地域社会を指します。

【基本計画の位置づけ】



であったり、コミュニティで事業の委託を受けるということも考えられる。

【協働のまちづくりの推進】



所管事務調査

地域包括ケアシステムの

進捗状況

概要

地域包括ケアシステム構築のため、高齢者の生活支援の充実と社会参加の促進に取り組んでいます。

生活支援とは、独居高齢者の見守り、買い物や掃除等の家事援助、外出支援、緊急通報装置などの民間福祉サービスなどです。

社会参加とは、元氣な高齢者が地域での生活支援の担い手になったり、地域組織や公民館等の集いの場への参加、体操教室等で介護予防をすることなどです。

生活支援を充実させるためにはその担い手が必要であり、その開発・発掘のため次のような取り組みを行っています。

- 1. 庁内連携体制の構築
- 2. 地域包括ケア推進会議の設置

3. 生活支援コーディネーター（地域支援）の

え合い推進員）の設置

4. 協議体「つくしネット 筑紫野」の設置

5. 地域資源の把握

住民主体の支援活動の推進のため、生活支援の担い手となる多様な主体への周知・啓発活動を行っています。

委員会での質疑

議員 現在、主体となつて取り組んでいるボランティアや事例は。

執行部 運動サポートや、食生活改善推進員、福祉委員等です。学習会で各自の取り組みの効果など情報の交換の場や交流の場を設けて支援をしている。

所管事務報告

IoTを活用した高齢者の見守り

概要

IoTを活用した緊急通報装置を実験的に活用し、その有効性を検証する事業を、県の補助を100%受けて行います。

部屋や冷蔵庫のドアの開閉が一定期間ない場合、コールセンターから連絡が入る仕組みです。行方不明の経験がある方には、センサーを身につけて頂くことで居場所がわかる仕組みになっています。

実施年度は、令和2年の1月から3月の予定で、事業費は131万2千円。全ての補助で行います。モニター機器は15セットです。対象者は過去に行方不明になった方や、その恐れがある認知症高齢者5人程度と、心

【高齢者の見守り機器】

| | |
|---------|--------------------------------------|
| 異変の通報 | ①ボタンを押し通報 ②一定時間、ドアの開閉がない等により異常を感知 |
| 固定電話回線 | 不要 |
| 行方不明のとき | 自宅外でも、随時、居場所が確認できる |



臓疾患などがあり、見守りが必要な独居高齢者10人程度です。

所管事務報告

骨髄等移植ドナー助成

小児、AYA世代のがん患者在宅療養助成

概要

県が今年度の重点施策として、骨髄等移植の促進及び若年がん患者の在宅療養を支援するための新たな助成事業を開始することを受け、本市も、今年度中に事業を開始する方針を整え、予算確保を行います。

●骨髄等移植ドナー助成事業

白血病を治療するための助成事業です。骨髄提供には1週間の入院、通院が必要のため、働いている提供者への経済的負担軽減、休業補償が目的です。実施主体は筑紫野市、対象者は骨髄等の提供を完了した者で、助成内容は、通院、入院日数に7日間を限度として、2万円を乗じた額です。

●小児、AYA世代のがん患者在宅療養助成事業

40歳未満の小児・若年がん患者及び家族が、安心して生まれ育った環境で療養生活を送ることができ環境を整備します。実施主体は筑紫野市、対象者は40歳未満の末期がん患者です。助成内容は、自宅での療養生活に必要な訪問介護、福祉用具貸与・購入に要する費用の9割に相当する額で、利用上限額は月額6万円、本人の負担割合は1割です。

AYA（アヤ）世代とは、Adolescent&Young Adult（思春期・若年成人）のことをいい、15歳から39歳の年齢層を指します。

所管事務調査

食品ロス削減の取り組み

概要

食べられるのに捨てられてしまう食品を削減するため、令和元年5月31日に食品ロス削減推進法が公布されました。本市では次のような取り組みをしています。

- ① 食べ残しをなくそう
- 30・10運動の啓発

宴会の際に、乾杯後の30分と終了前の10分は自分の席で食事し、食べ残しを減らす運動です。市では広報誌やSNSへ啓発記事を掲載しています。

- ② 小学生に対し環境教育副読本「地球にやさしくなる本」配付
- ごみや水、自然環境や生き物などを主なテーマとして市が作成した環境教育副読本を、市内の小学校4年生を対象にして配付してい

ます。その中で「食べ残しをなくそう」と食品ロス削減を子どもたちへ呼びかけています。

- ③ 段ボールコンポスト講座の開催

段ボールを使って食品廃棄物を堆肥化させる方法を紹介する講座を市民向けに開催しています。

委員会での質疑

議員 市内飲食店にも、食品

ロスを減らす取組みを呼びかけてはどうか。

執行部 筑紫野市ごみ減量推進

連絡協議会が進める「ごみ減量・リサイクル協力店認定制度」への登録呼びかけを積極的に行う。

所管事務調査

公園管理の現状と今後の整備計画

概要

筑紫野市が管理する公園総数は206カ所。近隣市（筑紫地区）との比較では、公園数については最多となっており、総面積では大野城市について2番目の広さを有しています。



今後の公園の整備計画については、筑紫駅西口土地区画整理事業地内の街区公園と、隣接する筑紫公園が進捗しています。

委員会での質疑



議員 行政区に公園がいくつ

必要だという目安はあるのか。

執行部 行政区ごと

にいくつという決まりはない。開発行為に伴って公園が

少しずつできています。

議員 子どもが使

公園を、高齢者が使いやすいものに変更することは可能なのか。

執行部 相談があれば、地域の

実情に沿って、意見を聞きながら検討したい。

所管事務報告

空家等対策で協定書を締結

概要

令和元年7月に策定した筑紫野市空家等対策計画における施策のうち、住民からの相談に対する取り組みとして、専門家と連携した相談体制を構築することとしました。

談を受けられる体制を構築しています。

委員会での質疑

議員 今後、市民の空家に関する相談窓口はどのようになるか。

執行部 従来どおり

市民の空家相談窓口は市役所建築課に置き職員が対応する。

空家の売買や賃貸、管理、相続などの専門的な知識が必要になった時は、宅建協会筑紫支部内に新設された無料相談窓口を紹介する。



市役所建築課 空家相談窓口

第六次筑紫野市総合計画基本構想及び基本計画

市の最上位計画策定に向けて 特別委員会を設置

概要

総合計画は、市政全般における政策や施策等を体系化した市の最上位の計画として策定されるものです。

令和2年度（令和5年度）を計画期間とする、第六次総合計画基本構想及び基本計画に関する議案を審査するため、12月6日に特別委員会を設置し、12月13日と16日に審査を行いました。引き続き詳細な審査を行うため1月以降にも委員会を開催する予定です。

委員会での質疑

議員 現計画である第五次総合計画の達成状況などを踏まえ、第六次総合計画はどのような考え

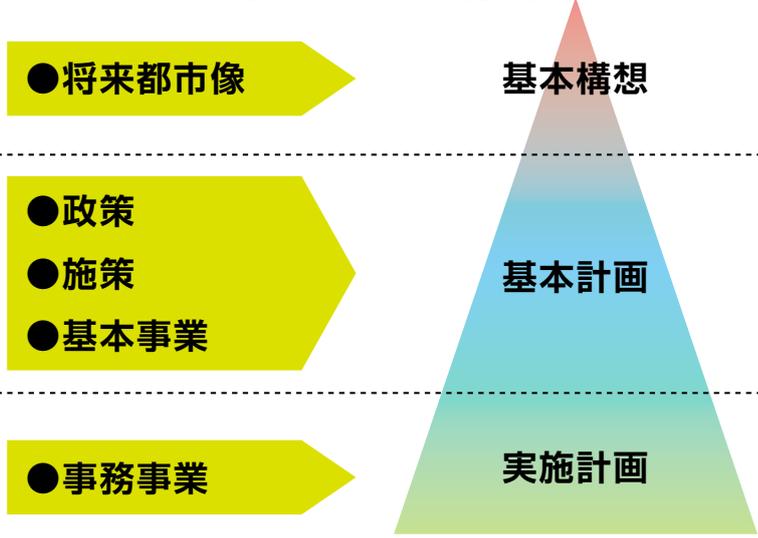
方に基づき策定しているのか。

執行部

現行の総合計画に基づき、くまづづくりが良好であることを踏まえ、第六次総合計画についても基本的には現行計画

の方向性を踏襲しつつ、社会経済情勢の変化を適切に捉えながら必要な見直しを行っている。

総合計画の構成



令和2年 3月定例会

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|----|---------------------|---------------------|---------------------|------------|----|
| 2/23 | 24 | 25 本会議 初日 | 26 | 27 代表質問 | 28 本会議 | 29 |
| 3/1 | 2 | 3 常任委員会 | 4 常任委員会 | 5 常任委員会 | 6 常任委員会 | 7 |
| 8 | 9 | 10 予算審査 特別委員会 | 11 予算審査 特別委員会 | 12 予算審査 特別委員会 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 一般質問 | 19 一般質問 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 本会議 最終日 | 25 | 26 | 27 | 28 |

※変更する場合があります。

市議会関係日程のお知らせ

会議録の検索はこちらから

(1 2月定例会の一般質問は、2月下旬以降に検索できます)



一般質問

筑紫野市政の ここが知りたい!!

つくしにも
紫生ふる
野辺はあれど
なまこ名悲しむ
人ぞ聞えぬ
菅原道真公

市内の歌碑・句碑シリーズ3

作者：菅原道真

訳：都にも紫草があるように筑紫にも紫草が生えていて、ここに紫（ゆかり）の者は居るが世間から名前を忘れられても悲しむ人は聞こえていない。

場所：筑紫野市紫2丁目21番22号 西鉄紫駅前

12月定例会の一般質問では、市政について8人の議員が15題目にわたり質問しました。質問答弁の内容については議員本人が要約しています。掲載順は本会議当日の質問順ではありません。

質問題目 一覧

■坂口 勝彦 議員

①本市の健康づくり支援について

■西村 和子 議員

①広報等における男女共同参画の視点について

■山本 加奈子 議員

①成年後見制度について

■八尋 一男 議員

①竜岩自然の家への稼ぐ指定管理者制度の導入について
②天山スクールバスの有効活用について

■段下 季一郎 議員

①受動喫煙防止の取り組みについて
②中心市街地の活性化について
③認知症を発症した高齢者とその家族へのサポート体制の整備について

■前田 倫宏 議員

①公用車の事故防止対策について
②保育士確保の取り組みについて
③指定管理者制度の活用について

■下成 正一 議員

①スポーツ施設の状況について
②鷲田川の治水対策事業について
③ごみ減量と地域ごみ収集の問題について

■田中 允 議員

①福岡県が実施している「大規模盛土造成地の所在調査」について

写真下の()は
所属会派

会派

つくし野 → つくし野
市民会議 → 市民会議
公明党 → 公明党筑紫野市議団
(-) → 会派に所属しない議員

健康づくりポイント事業にアプリ運用を

活用にもついで検討していく



坂口 勝彦
(公明党)

議員 「第2次健康づくりの21」の取り組みの現状と課題は。

健康福祉部長 生活習慣病・がん予防対策をはじめ、健全な食生活の推進等に取り組んでいる。健診受診率の向上、望ましい生活習慣の確立等を課題と捉えており、今年度の中間評価結果を踏まえながら今後の取り組みを進めていく。

議員 本市の主要死因は、悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患が半数以上を占めている。「脳卒中、循環器病対策基本法」が成立しているが、心疾患・脳血管疾患の予防

と健康管理に対する今後の取り組みは。

健康福祉部長 国・県において、循環器病対策推進計画の策定がなされており、今後の動向に注視しながら適切に対処していく。

議員 健康づくりポイント事業で子どもから高齢者まで、より多くの市民が手軽で気軽に健康づくりができるスマートフォンアプリでの運用の検討は。

健康福祉部長 来年度より、県において健康アプリを活用した事業が開始されることからその活用にもついで検討していく。



議員 市の制作したPR動画は、性別役割分担を推奨し、本市が男女共同参画は進んでいないことをアピールしてしまうのではないかと。

企画政策部長 PR動画は移住促進を目的としており、子どもの視点で住みよさをPRするものである。夫が朝食を準備していることもあり、男女共同参画の視点での問題があるとは考えていない。

議員 動画作成業者との打ち合わせ時に男女共同参画のための広報等作成指針を示して相談したのか。されていければ、どちらかが気が

がついたはず。シナリオができた段階で担当課に相談されたのか。

企画政策部長 指針は、職員用の指針であり、業者に指針を示したり、当時の男女共同参画推進課への相談等は行っていない。

議員 広報表紙の男性だけの写真掲載については、「男性の地域活動へ参加向上を目指しており、男女共同参画の視点が欠けているとは考えていない」ということだが、説明文は、「大人も子どもに戻ったような笑顔で、競技を楽しんでいました。」とあり、男女共同参画推進の意図を読み取るには無理がある。

企画政策部長 みんなが競技を楽しんでいる旨の説明文は性別役割分担意識を助長する表現ではなく問題ない。



西村 和子
(市民会議)

広報等の男女共同参画の視点は

問題があるとは考えていない

多様な専門職や市民後見人、家庭裁判所との連携を強化すべき

定期的な会議や研究会等で連携強化に努める



山本加奈子
(公明党)

議員 成年後見制度は利用が必要な方が増えている比率から見れば利用は進んでいるとは言い難い。利用が進まない原因の一つに欠格条項があったが、原則として削除する法律が

成立した事で、障がい等をお持ちの方の就労支援や社会参加の後押しになると関係者に喜びが広がっている。今後の利用者の増加に対応できるよう、弁護士や司法書士だけでなく、行政書士・社会保険労務士等多様な専門職や市民後見人、家庭裁判所との連携を強化すべきと考えるが市の見解は。

健康福祉部長 多様な担い手の確保に向けて、家庭裁判所とは定期的な会議等を通し、社会福祉士や社会保険労務士等の専門職とは、本市主催の研究会を通して、現状や課題の情報共有等に努めている。更なる連携の強化に向けて、これまでの取り組み内容の充実に努める。

議員 平成29年3月に成年後見制度利用促進基本計画が閣議決定され、市でも基本計画を策定する事が求められている。策定はいつ頃か。

健康福祉部長 令和3年度末までの策定を検討していきたい。





八尋 一男
(つくし野)

竜岩自然の家 活用拡大を 今後も多様な方策を研究する

議員 竜岩自然の家は、約20年が経過し、その間、青少年の野外活動の場、生涯学習の場、ふれあい・やすらぎの場、そして山村地域の活性化をしてきたと思っておりますが、さらなる発展をさせたい気持ちでいっぱいです。

教育部長 野外活動施設として適正な運営を

行いながらサービスの向上に努めている。現時点では導入は考えていないが、多様な方策を研究しながら、施設の設置目的に沿った効果的、有効的な運営を図りたいと考えている。

利用客は年一万一千人程度で横ばい、市外の利用客が6割、BBQセットや簡易テントが持ち込めず貸出器具の管理が必要である、歩道がなく学校単位の遠足等が利用しづらい、収入700万円に対し管理費は2400万円になっているなどの課題がある。

指定管理者制度は、



竜岩自然の家

天山スクールバスの有効活用を

議員 当スクールバス

は朝と夕方の二回児童の送迎のみである。市内小学校の児童を竜岩自然の家へ送迎するとかコミュニティ文化祭の送迎に利用するなど、もっと効率的に他の目的にも活用できないか市の見解を伺う。

教育部長 天山スクールバスは、

天山区の児童の登下校の安全で安心な通学の確保を目的としている。

目的外利用は、事故や故障等の不測の事態により安定的な送迎に支障をきたす恐れもあり考えておりません。

議員 二日市コミセンは施設も駐車場も狭いという市民の意見がある。過去に小学校単位でコミュニティをつくる議論が行われ、二日市コミュニティは3小学校区が含まれ人口も多く、地域包括ケアアシSTEMの拠点である。

待機児童も解消しておらず、アクセスの良い中心市街地に保育園を整備するべきでは。また、産後ケアセンター設置推進法案が成立したが、共働き世帯が増加、核家族化、不妊治療による多胎妊娠など、産後うつや虐待などを防止する必要がある。市有財産を売却した財源で二日市コミセンと保育園、産後ケアセンターの複合施設を整備するべきでは。

企画政策部長 複合施設の整備について、市有地売却や跡地利用等

現時点で具体的な計画はないので、今後の研究課題としたい。

議員 地元住民の意見を聞き、

地域活性化の起爆剤として、JR二日市駅西口新改札整備に合わせ、例えばJR二日市温泉駅と名称変更し、観光振興に繋げ

企画政策部長 駅の名

称変更について、駅名に歴史があり、費用対効果の面で課題があり、現時点で変更する予定はない。

受動喫煙防止の取り組みは

議員 健康増進法を改

正する法律が成立し、事業者、国民も受動喫煙防止の取り組みがマナーからルールに変わる。市役所の自転車置き場横の喫煙所は人の通り道となっており、20歳未満の立入禁止措置が取られていない。市の公共施設において、望まない受動喫煙の防止は徹底されているか。新たな取り組みや規制を進めるために受動喫煙から守る条例を制定するべきでは。

健康福祉部長 第一種

施設の屋内喫煙場所は全て廃止、市庁舎、カミリアなど5施設に特定屋外喫煙場所を設置している。ご指摘の喫煙所は、現状を精査し、必要に応じ適切に対処する。改正法に基づく規制基準の遵守が重要であることから、市独自の条例制定は考えていない。

二日市に複合施設の整備を

今後の研究課題とする



段下 季一郎
(市民会議)



前田 倫宏 (-)

保育士に支援を 家賃補助等の金銭的な補助の実施は 考えていない

議員 保育士確保の取
り組みとして、保育士
の処遇改善や合同説明
会の進捗状況とその成
果は。小郡市では、保
育士就職支援金を10万
円給付し、加えて10万
円を上限とし、引越
し費用が加算される。
宗像市でも3万円を上
限とする家賃補助金を
支給している。早急に
本市で働く利点を設け
る必要があると考えて
いるが、家賃補助金な
どの実施を検討しては



指定管理者制度の 活用について

議員 2003年地方
自治法改正により、指
定管理者制度が導入さ
れた。今後、人口動態
と財政状況等を見据え
た、市の方針を策定し
なければならぬと考
えている。導入後の成
果と課題及び導入され
ていない公共施設を含
めた今後の市の方針は。
竜岩自然の家の利用者
数はほぼ横ばいで、赤
字である。竜岩自然の
家の費用対効果の結果
を踏まえ、指定管理者
制度の導入を検討して
は。

企画政策部長 市内に
導入施設が7施設あ
る。次の指定を検討す
る段階で、成果や課題
等が整理される。現時
点で竜岩自然の家の指
定管理者制度の導入は
考えていないが、今後
も多様な方策を研究
し、当施設の設置目的
に沿った運営を図りた
い。

議員 指定管理者によ
る適正な管理と運営を
確保するためには、ガ
イドラインの策定や、
モニタリングマニユア
ルの作成を検討する必
要がある。本市の見解
は。

企画政策部長 各課の
制度の運用状況や他団
体の取り組みを踏ま
え、必要に応じて検討
する。

議員 農業者トレーニ
ングセンターは施設の
老朽化が進み、施設の
不備が指摘されており、
市民が安心して利用で
きるように施設の長寿
命化を図り、利用者満
足度を高めることが必
要ではないか。

教育部長 同施設は、
定期点検などによって
状況を把握し、適正に
維持や修繕をすること
で長寿命化を図り、安
全性の確保に取り組ん
でおります。今後もス
ポーツ活動の重点拠点
として、利用者が利用
しやすいように努めて
まいります。

スポーツ施設の将来ビジ
ョンをどのように進め
ていくのか。

教育部長 スポーツ施
設の将来ビジョンにつ
いては、教育施設大綱
などに基づき、既存の
施設を有効に活用し、
多様化する利用者ニー
ズに応じた施設の充実
を目指してまいります。

議員 新しい体育館、
グラウンドなどの施設
整備の考えは。

教育部長 新たなスポ
ーツ施設の整備につま
しては、現時点におい
ては考えておりません。

被害が出て、世界的に
大きな問題となってい
るが、市のごみ減量対
策の取り組みについて
伺う。

環境経済部長 ごみ減
量の取り組みについて
は、ごみ出しカレンダー
や広報誌などによる
啓発を実施し、多量排
出業者に対しては市の
条例に基づき、減量の
義務付けを行っていま
す。

議員 高齢者・障がい
者の単身世帯のごみ出
し支援について、支援
制度を検討すべきと考
えるが市の見解は。

議員 高齢者の健康志
向が高まり、グラウン
ドゴルフ、ペタンクな
どの軽スポーツは生き
がいづくりにつながり
また、働き方改革によ
り、現役世代の利用者
増加が予想される。ス
ポーツ施設の将来ビジ
ョンは

環境経済部長 ごみ出
し支援については地域
において、高齢者など
に対する生活支援の動
きが広がっていること
から、学習会の開催に
より推進を図ってい
ます。

スポーツ施設の将来ビジョンは 多様化する利用者ニーズに応じた施設の 充実を目指す



下成 正一 (つくし野)

災害対応に対する市の考えは

今後、一層の推進を図りたい



田中 允 (-)

議員 県で実施している大規模盛土造成地の本市の調査結果は。

建設部長 本市においては、現在調査中であると聞いている。

議員 今後の災害対策の取り組みは。

建設部長 災害に強い安全安心のまちづくりのため、県の河川整備計画に基づき、御笠川水系の高尾川地下河川築造工事や筑後川水系の宝満川河川改修工事など、順次進められている。山間部は、砂防工事などが計画的に進捗しており、これらの効果を聞きながら、今後も国・県・市の連

携のもと推進していく。また、今年度ハザードマップの見直しを行っており、コミュニティからの情報について、適切に反映していく。

議員 今後の災害対応に対する市長の考えは。

市長 暮らしを守るための基盤整備や、地域に潜在する身近な諸問題の把握など、ハード面、ソフト面の両面での取り組みに加えて、自助、共助、公助による安全安心のまちづくりが必要であります。今後、一層の推進を図りたい。

また、下見池を市に譲渡していただき、現在筑紫高校のグラウンドを作るように進めておりますが、災害時には仮設住宅の用地として280戸ぐらい建つ計算になっております。

12月定例会 審議結果 (12月4日~12月20日)

条例・・・4件 (原案可決) 補正予算・・・14件 (原案可決)

人事案件・・・15件 (同意) その他・・・1件 (継続審査)

・第六次筑紫野市総合計画基本構想及び基本計画について

請願・・・1件 (採択)

・教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に関する請願

発議・・・1件 (原案可決)

・教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

陳情・・・3件

- ・学校教材の計画的な整備推進についてのお願
- ・「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに、「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止」を求める自治体意見書採択についての陳情書
- ・宝満川 (阿志岐小学校東側入口近辺) の堆積土砂の除去について (陳情)

議案の内容は、市のホームページをご覧ください。



QRコード

令和元年第5回12月定例会の審議議案等一覧 (賛否が分かれた案件のみを掲載)

| 議案等名 | つくし野 | | | | | | | | | | 市民会議 | | | | 公明党 | | | 議長 | 採決結果 | | | | |
|---|------|----|----|----|----|----|----|-----|----|---|------|----|----|----|-----|----|----|----|------|----|----|----|----|
| | 横尾 | 大石 | 鹿島 | 赤司 | 下成 | 平嶋 | 原口 | 波多江 | 八尋 | 城 | 上村 | 辻本 | 阿部 | 西村 | 白石 | 段下 | 宮崎 | | | 山本 | 坂口 | 田中 | 前田 |
| 議案第53号 筑紫野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例 (一部改正) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | 可決 |

○→賛成、●→反対、棄→棄権、欠→欠席 ※議長は賛否が同数になった場合を除いて採決には参加できません。

委員会視察レポート



詳細についてはHPで掲載しています。

総務市民常任委員会

「地域防災」東京都分寺市

「公共施設再生計画」千葉県習志野市

「地域公共交通（デマンドタクシー）」千葉県市原市

○地域防災

市民防災まちづくり学校事業を行っており、月一回防災に関する講義を受け、修了者は市民防災推進委員に認定され、地域に戻り防災の普及・啓発を行っている。

防災まちづくり推進地区を指定し、各地区が市と協定を結び、コンサルタントを市が派遣し、地域防災計画の策定などを行っている。
防災倉庫の設置や生活用水確保のための井戸の設置補助も市が行っている。

○公共施設再生計画

一つの施設に複数の機能を持たせ、維持管理費を削減していく。

使われなくなった土地や建物を民間に売却・貸付すること

「地域防災」東京都分寺市
「公共施設再生計画」千葉県習志野市
「地域公共交通（デマンドタクシー）」千葉県市原市

新たな財源を創出し、将来的な税収も確保する。

計画的にメンテナンスを行い、長寿命化を図り、事後保全から予防保全に切り替え、コストを削減していく。

○地域公共交通

デマンドタクシーはあらかじめ利用者に登録していただき、前日までのタクシー会社への予約に限って運行している。また、路線や乗車人数にもよるが、一般のタクシーよりも4分の1ほど安い料金となっている。

運転免許を自主返納された方にはコミュニティバス、路線バスは半額、タクシーは1割引き等を行っている。

文教福祉常任委員会

「発達支援課の業務（こじか教室）」滋賀県甲賀市

「おじやまる広場」三重県名張市

「タブレットを活用した授業等」奈良県奈良市

○発達支援課の業務

発達支援課では、幼児期・学齢期・青年期にわたる心理・発達に関わる相談、支援を実施している。3つの支援機関があり、視察では、いろいろな育ちにくさを持つ就学前の児童と保護者を対象にした「こじか教室」を訪れた。子どもは遊びを通してコミュニケーションの力を養い、保護者は子どもとの接し方や発達の特徴などを学んでいる。

○おじやまる広場

名張市の社会福祉協議会、民生委員、児童委員、まちの保健室、つつじが丘幼稚園の支援や協力を得て、ボランティアが主体となって運営している団体。つつじが丘市民センターで月2〜3回開催。

子ども同士のふれあい、保護者同士の悩み相談やボランティアの方の経験を聞いたり、友達づくりをする場所として利用していただけたらとの思いがある。

利用者には年会費100円で会員登録をしていただいている。小学生、中学生と一緒に地域をあげて心が通った見守り・育成活動を行っている。

建設環境常任委員会

「食品ロス削減の取り組み」兵庫県加古川市

「農地付き空家の活用」兵庫県宍粟市

「再生可能エネルギーの活用」兵庫県洲本市

○食品ロス削減の取り組み

「加古川おいしい食べきり運動協力店」制度を設け、食品ロス削減に協力する飲食店を募っている。協力店には、ステッカーと卓上ポップを配布し市民へPRする。

また、家庭で出た食品ロスを記録する「食品ロスダイアリー」を市民モニターへ実施し、実施結果をもとに出前講座等を行っている。

○再生可能エネルギーの活用

あわじ環境未来島構想や地域再生可能エネルギー活用推進条例等に基づき、太陽光発電設置、菜の花・ひまわりエコプロジェクトによるバイオ燃料製造利用、竹チップを主燃料とするボイラーの整備、ため池ソーラー発電所の設置など先進的な取り組みを産官学金の連携により、数多く展開している。

また、家庭で出た食品ロスを記録する「食品ロスダイアリー」を市民モニターへ実施し、実施結果をもとに出前講座等を行っている。



こじか教室 滋賀県甲賀市



バイオ燃料製造機を見学する委員

農地取得を目的とした移住定住の促進を図る。

○農地付き空家の活用

空家バンクに登録した空家に付属する農地を取得する場合には限り、農地取得の下限面積を1アールとし、小さな面積の農地でも取得できるようにした。

12月1日 森林ボランティアに参加

筑紫野市では平成14年度より、ちくしの森林ボランティアの会を発足し、市有林などの手入れを行う森林ボランティア活動を行っています。活動内容としては下草刈り、伐竹、枝打ち、植樹などを行っています。

議員も参加して、平等寺の「彩りの森」で今回は枝打ち・間伐作業を行いました。



12月6日 議員研修会を開催

今回は、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏を講師にお招きし、今後の議会改革について講演をしていただきました。

委員会の審査における着眼点や本会議、委員会での市民参加の在り方などのさまざまな先進事例を紹介していただき、今後の議会としてのあるべき姿を再確認することができました。

1月12日 消防出初式に参加

当日は、消防団の分列行進、ポンプ車操法、陸上自衛隊音楽隊の演奏、消防本部、消防団による消防演習などが行われました。

住民の生命、身体、財産を守るため、献身的にご尽力いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。皆様のさらなるご活躍を願っております。



1月21日~23日 議会運営委員会行政視察

議会運営委員会及び正副議長が神奈川県茅ヶ崎市議会「決算審査における事業評価」、神奈川県横須賀市議会「政策検討会議」、埼玉県戸田市議会「常任委員会の年間活動テーマ」などについて視察をしました。今後の議会活動に活かしていきます。

広報委員会

委員長 鹿島 康生

副委員長 波多江祐介

委員

辻本美恵子・赤司 泰一
山本加奈子・段下季一郎

編集後記

昨年の広報研修会で、広報は Public (公共の、公衆の) Relations(関係づくり)というのが本来の意味だが、和訳される際に広告宣伝 (PR) と曲解され日本に定着した事を学びました。議会だよりは市民の皆様へ情報を「知らせる (広報)」、市民の声を「聴く (広聴)」の双方向性のコミュニケーションを大事にして編集しています。(段下)